事業計画 (岩手県釜石市)

1. 海岸対策

①海岸の状況

市内の地区海岸数 20 地区海岸 被災した地区海岸数 20 地区海岸 応急対策を実施した地区海岸数 6 地区海岸 本復旧を実施する地区海岸数 20 地区海岸 復興を実施する地区海岸数 3 地区海岸

②堤防高

平成23年9月26日及び10月20日に堤防高を公表※。

大槌湾 : T. P. 14.5m (対象津波:明治三陸地震) 両石湾 : T. P. 12.0m (対象津波:昭和三陸地震) 釜石湾 : T. P. 6.1m (対象津波:明治三陸地震) 唐丹湾 : T. P. 14.5m (対象津波:昭和三陸地震)

※ 公表した堤防高を基本に、環境保全、周辺環境との調和、経済性、維持管理の 容易性、施工性、公衆の利用等を総合的に考慮して決定する。

③復旧の予定

復旧する施設の概要計画については、平成24年3月までに策定済み。

これに基づく本復旧工事については、平成24年12月より順次工事に着手し、平成29年度での完了を目指す。

復興する施設の概要計画については、平成24年3月までに策定済み。

これに基づく復興工事については、平成25年6月より順次工事に着手し、概ね平成28年度での完了を目指す。

④平成26年度における成果

- ・新たに、8地区海岸において本復旧工事に着工した。(累計 18 地区海岸)
- ・全ての地区海岸で復興工事に着工した。(累計3地区海岸)

⑤平成27年度の成果目標(集中復興期間の成果目標)

- ・全ての地区海岸で本復旧工事の着工を目指す。(累計 20 地区海岸)
- 新たに、2地区海岸で復興工事の完了を目指す。(累計2地区海岸)

⑥事業完了予定年度 概ね平成 29 年度での事業の完了を目指す。

⑦ その他

・地区海岸毎の計画等については別添一覧表に記載。

海岸保全施設の復旧・復興にかかる事業計画

		10 04 - 24 11		施設の高さ(T.P)					復旧	・復興の	予定						
市町村	地区海岸名	堤防護岸 延長 (m)	主な施設	被災前 現況高 (m)	況高 復旧高 対策		概要計 画策定			工事 左記の 実施状 着工 況		工事 完了	左記の 実施状 況	H26年度の 実施内容等	H27年度の 実施内容等	その他の場合に詳細を 記載	備考
釜石市	本郷	246	堤防、排水樋門、陸閘	11.80	14.50	-	H23.12	H25.3	策定済み	H25.3	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	下荒川	308	堤防、突堤、排水樋門	11.80	14.50	完了	H23.12	H25.3	策定済み	H25.1	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	箱崎漁港	829	防潮堤、水門、陸閘、護岸	5.60	14.50 5.60	完了	H24.3	H26.3	策定済み	H26.4	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	白浜(鵜住居)漁港	343	防潮堤、水門、陸閘	6.40	14.50	I	H24.3	H26.3	策定済み	H26.10	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	両石漁港	400	防潮堤、水門、陸閘	9.30	12.00	完了	H24.3	H26.9	策定済み	H26.9	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	釜石漁港	1,763	防潮堤、水門、陸閘	4.00	6.10	完了	H24.3	H26.9	策定済み	H25.9	着工済み	H30.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	小白浜漁港	506	防潮堤、水門、陸閘	11.80	14.50	完了	H24.3	H26.9	策定済み	H25.3	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	室浜漁港	398	防潮堤、陸閘	5.80	14.50	-	H24.3	H26.10	策定中	H26.12	着工済み	H30.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	仮宿漁港	152	防潮堤	6.40	12.00	I	H24.3	H26.3	策定済み	H26.12	着工済み	H28.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	桑ノ浜漁港	145	防潮堤、水門、陸閘	9.30	12.00	I	H24.3	H26.3	策定済み	H26.12	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	嬉石漁港	266	防潮堤、水門、陸閘	4.00	6.10	I	H24.3	H26.3	策定済み	H27.9	着工予定	H29.3	完了予定	地権者等との調整	地権者等との調整		復旧
釜石市	平田漁港	480	防潮堤、水門、陸閘	4.30	6.10	I	H24.3	H26.3	策定済み	H26.12	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	白浜(釜石)漁港	231	防潮堤、水門、陸閘	6.10	6.10	1	H24.3	H26.3	策定済み	H27.6	着工予定	H28.3	完了予定	地権者等との調整	地権者等との調整		復旧
釜石市	佐須漁港	153	防潮堤、水門、陸閘	6.30	14.50	_	H24.3	H26.3	策定済み	H26.12	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	片岸地先	758	防潮堤	6.40	14.50	完了	H23.10	H26.6	策定中	H25.8	着工済み	H30.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	水海地先	250	水門	12.00	12.00	I	H23.10	H26.6	策定中	H24.12	着工済み	H28.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	小白浜	474	防潮堤、水門	11.80	14.50	-	H23.11	H26.6	策定中	H25.3	着工済み	H29.3	完了予定	本工事	本工事		復旧

				施設の高	高さ (T.P)				復旧	・復興の ⁻	予定						
市町村		堤防護岸 延長 (m)	主な施設	被災前 現況高 (m)	被災後 復旧高 (m)	復旧高 刈束		詳細計画策定	左記の 実施状 況	工事 着工	左記の 実施状 況	工事 完了	左記の 実施状 況	H26年度の 実施内容等	H27年度の 実施内容等	その他の場合に詳細を記載	備考
釜石市	釜石港湾口	1,960	津波防波堤	5.14	5.14	ı	H23.7	H24.4	策定済み	H24.9	着工済み	H30.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	釜石港須賀	1,216	胸壁、その他(陸閘、水門)	4.00	6.10	ı	H23.10	H26.6	策定済み	H25.2	着工済み	H28.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	釜石港大平	841	護岸、その他(陸閘、水門)	4.14	6.10	ı	H23.10	H26.6	策定済み	H25.10	着工済み	H28.3	完了予定	本工事	本工事		復旧
釜石市	釜石漁港	1,763	防潮堤75m	2.30	6.10	ı	H24.3	H26.10	策定済み	H26.10	着工済み	H28.3	完了予定	詳細設計	本工事		復興
釜石市	嬉石漁港	266	防潮堤245.5m 陸閘1基	2.60	6.10	-	H24.3	H26.10	策定済み	H26.12	着工済み	H28.3	完了予定	詳細設計	本工事		復興
釜石市	釜石港 東部	無堤	避難施設	0.00	12.00	-	H23.11	H26.9	策定済み	H25.6	着工済み	-	_	本工事等	本工事		復興

2. 河川対策

【県・市町村管理区間】

①2級水系鵜住居川水系など**1の県管理区間では、全箇所の災害査定を完了し、16 箇所*2で災害復旧事業を予定。そのうち、施設の被災及び背後地の状況に応じて緊急度の高い3箇所については大型土のう積み等による応急対策を完了。

なお、釜石市の市管理区間では、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法の該当事業はない。

- ②平成 25 年度までに、全箇所で本復旧に着手し、平成 26 年度内に 1 箇所で本復旧完了した(累計 15 箇所(他事業調整により廃工にした 1 箇所を含む)。
- ③平成27年度の完了予定箇所は無し。

本復旧は、海岸堤防の整備計画及び市が策定する復興計画等と整合を図りながら逐次整備し、概ね29年度を目途に全箇所完了させることを目標とする。(まちづくりと一体となって実施する区間については、まちづくりと堤防整備の調整を図りながら実施。)

併せて、堤防において液状化のおそれがある箇所については対策を実施。

また、今後津波の遡上が想定される区間については、水門等の機能が確実に発揮されるよう、耐震化、自動化及び遠隔操作化の対策を実施。

震災前に比べ堤防等が脆弱であること等から、平成 23 年出水期より避難判断水位 等を引き下げるなど警戒避難体制を強化。堤防等の本復旧が完了したところから順 次、基準水位の見直しを実施中。

④平成26年度までの成果

- ・全箇所(16箇所)で災害査定を完了
- 15 箇所で本復旧に着手し、1箇所で他事業調整により廃工
- ・14 箇所で本復旧を完了

⑤平成 27 年度の成果目標

・本復旧の完了予定は無し

⑥事業完了予定年度

平成29年度までに1箇所完了予定(累計15箇所、廃工1箇所)。

※1 位置図を参照

※2 一連区間の取扱い方等により、箇所数は変動しうる



3. 下水道対策

【災害復旧事業】

①箇所名:大平下水処理場

②平成25年3月に通常レベルの処理を開始し、平成26年3月に復旧を完了。

【復興交付金事業】

①箇所名:鵜住居下水処理場

東部地区雨水ポンプ場

東部地区、鵜住居地区、平田地区汚水管渠

東部地区、鵜住居地区、平田地区雨水管渠

②処理場建設は、復興交付金と社会資本整備総合交付金のアロケーションにより実施。 地盤沈下した東部市街地の雨水を強制排除するポンプ場整備。

都市再生区画整理・防災集団移転促進・津波復興拠点整備の各事業における復興ま ちづくりにあわせた汚水管渠、雨水管渠整備。

③平成26年度の成果

処理場建設は詳細設計に着手。

雨水ポンプ場は実施設計に着手。

管渠整備は復興まちづくりの進捗にあわせて実施中。

④平成27年度の成果目標(集中復興期間の成果目標)

処理場は建設工事に着手し、平成28年度完了を目指す。

雨水ポンプ場は詳細設計、用地取得、建設工事に着手し、平成 29 年度完了を目指す。 管渠整備は都市再生区画整理事業等の進捗に併せて引き続き整備を進め、平成 29 年 度完了を目指す。

⑤事業完了予定年度

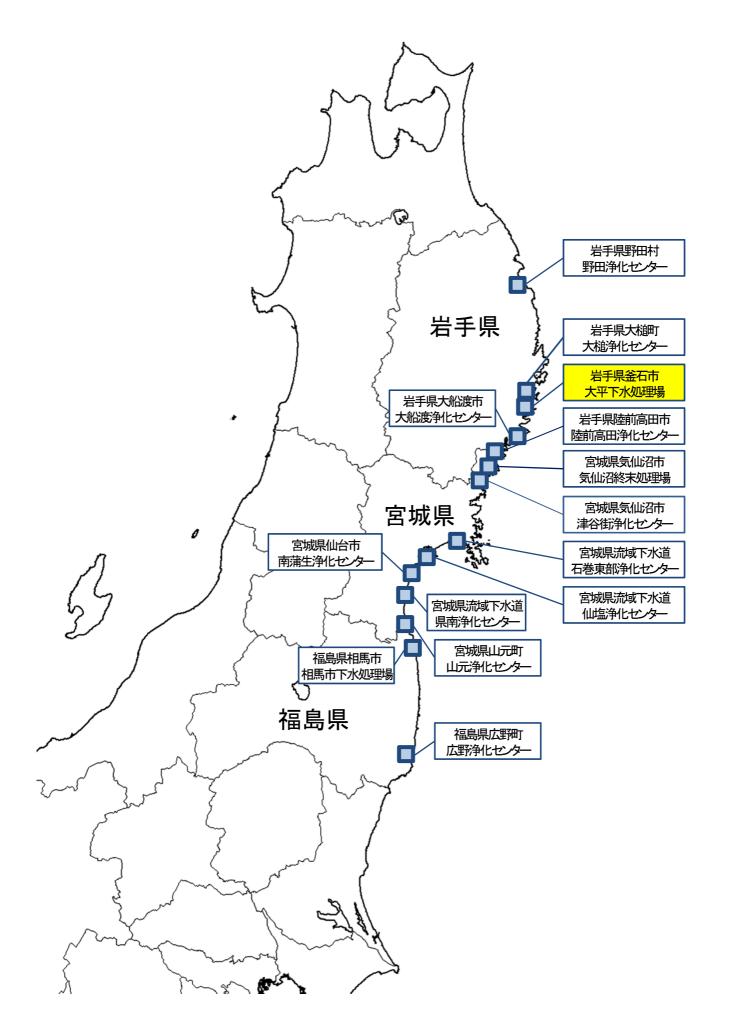
処理場建設 平成28年度

雨水ポンプ場 平成 29 年度

汚水管渠整備 平成 29 年度

雨水管渠整備 平成 29 年度

(参考)下水処理場 位置図



4. 交通網

自治体管理道路

- ①箇所(工区)名:一般国道 283 号、主要地方道釜石遠野線、一般県道釜石住田線、 一般県道吉浜上荒川線、一般県道桜峠平田線、一般県道唐丹日頃市線一般県道吉里 吉里釜石線、主要地方道釜石港線、市道両石千島線外 1 路線、市道両石漁協裏線外 9路線、市道野田1号線、市道北洞関線、市道平田上中島、市道平6号線外5路線、 市道平田 5 号線、市道平田 17 号線、市道富士見台 1 号線、市道浜町 13 号線、市道 尾崎白浜1号線外4路線、市道白山線、市道洞泉1号線、市道唐丹62号線、市道唐 丹 58 号線外 7 路線、市道唐丹 57 号線外 7 路線、市道唐丹 56 号線外 5 路線、市道唐 丹 33 号線、市道唐丹 25 号線、市道唐丹 22 号線外 11 路線、市道坪内鍋倉線、市道 大平町2号線、市道大平町18号線、市道大平町17号線、市道大平工業団地2号線、 市道大平工業団地 1 号線外 1 路線、市道大畑団地 2 号線、市道大畑団地 1 号線、市 道大畑関沢2号線、市道大洞線、市道大渡只越町2号線外14路線、市道大町只越町 1号線外10路線、市道水海線外3路線、市道神ノ沢2号線外1路線、市道新田堤防 線外 1 路線、市道新川原 4 号線外 10 路線、市道上小川線、市道松倉堤防線、市道松 倉 1 号線、市道松原町 3 号線外 7 路線、市道小白浜本郷線、市道寺前線外 7 路線、 市道桜木町上小川線、市道佐須2号線、市道根浜1号線外4路線、市道港町線外2 路線、市道枯松沢線、市道桑の浜稲荷線外3路線、市道栗橋14号線、市道魚河岸線 外 20 路線、市道嬉石町 2 号線外 6 路線、市道嬉石町 10 号線外 9 路線、市道嬉石大 平町線、市道鵜住居線外2路線、市道鵜住居8号線、市道鵜住居5号線外6路線、 市道鵜住居 46 号線外 1 路線、市道鵜住居 36 号線、市道鵜住居 32 号線外 1 路線、市 道鵜住居 30 号線外6路線、市道鵜住居2号線、市道鵜住居2号線、市道鵜住居25 号線外4路線、市道鵜住居24号線、市道鵜住居23号線外4路線、市道一の渡大松 線、市道おおばたけ1号線 (※参考に位置図を添付)
- ②平成 25 年度までに本復旧全 134 箇所のうち、120 箇所に着手し、110 箇所を完了した。
- ③平成 26 年度における成果

着手: 2箇所(累計 122箇所) 完了:10箇所(累計 120箇所)

未着手:12 箇所

④平成27年度の成果目標(集中復興期間の成果目標) 着手し未完了の2筒所については、平成27年度内の完了を目指す。 未着手 12 箇所については、引き続き、まちづくり計画等と調整し、早期着手あるいは施工の可否について判断する。

⑤ 事業完了予定年度 平成 27 年度

復興施策の事業計画 参考図面 道路 釜石市

釜石市

【県·市管理道路】

一般国道283号、主要地方道釜石遠野線、一般県道釜石住田線、一般県道吉浜上荒川線、一般県道桜峠平田線、一般県道唐 丹日頃市線、一般県道吉里吉里釜石線、主要地方道釜石港線

市道両石千島線外1路線、市道両石漁協 裏線外9路線、市道野田1号線、市道北洞 関線、市道平田上中島、市道平田6号線外 5路線、市道平田5号線、市道平田17号線、 市道富士見台1号線、市道浜町13号線、市 道尾崎白浜1号線外4路線、市道白山線、 市道洞泉1号線、市道唐丹62号線、市道唐 丹58号線外7路線、市道唐丹57号線外7路 線、市道唐丹56号線外5路線、市道唐丹33 号線、市道唐丹25号線、市道唐丹22号線 外11路線、市道坪内鍋倉線、市道大平町2 号線、市道大平町18号線、市道大平町17 号線、市道大平工業団地2号線、市道大平 工業団地1号線外1路線、市道大畑団地2 号線、市道大畑団地1号線、市道大畑関沢 2号線、市道大洞線、市道大渡只越町2号 線外14路線、市道大町只越町1号線外10 路線、市道水海線外3路線、市道神ノ沢2 号線外1路線、市道新田堤防線外1路線、 市道新川原4号線外10路線、市道上小川 線、市道松倉堤防線、市道松倉1号線、市 道松原町3号線外7路線、市道小白浜本郷 線、市道寺前線外7路線、市道桜木町上小 川線、市道佐須2号線、市道根浜1号線外4 路線、市道港町線外2路線、市道枯松沢線、 市道桑の浜稲荷線外3路線、市道栗橋14 号線、市道魚河岸線外20路線、市道嬉石 町2号線外6路線、市道嬉石町10号線外9 路線、市道嬉石大平町線、市道鵜住居線 外2路線、市道鵜住居8号線、市道鵜住居5 号線外6路線、市道鵜住居46号線外1路線、 市道鵜住居36号線、市道鵜住居32号線外 1路線、市道鵜住居30号線外6路線、市道 鵝住居2号線、市道鵜住居2号線、市道鵜 住居25号線外4路線、市道鵜住居24号線、 市道鵜住居23号線外4路線、市道一の渡 大松線、市道おおばたけ1号線

244路線 134筒所



5. 農地・農業用施設

①被災状況

津波により52haの農地及び農業用施設に甚大な被害

②農地の復旧状況

復興計画等に基づく各種工程と調整を図りながら、早期の復旧を目指す。

- 〇平成 24 年度から営農が可能な農地 1 ha
- 〇平成 25 年度から営農が可能な農地 8 ha
- 〇平成 26 年度から営農が可能な農地 8 ha
- 〇平成 29 年度以降の営農再開を目指す農地 34ha
- 〇平成 27 年度の成果目標(集中復興期間の成果目標) 平成 28 年度春の作付時期から、津波被災農地約 52ha のうち約 17ha(約 33%)で 営農が可能となる見込み。
- 〇事業完了予定年度 平成 30 年度以降

現時点における農地復旧の見通しを示したものであり、今後の地元調整等により、面積は変わり得るもの。

③区画整理等の実施状況

大船渡・釜石地区において、区画整理を実施しているところ。

6. 海岸防災林

①箇所名:根浜

②被災状況

津波により防潮堤 577mが被災(一部倒壊)した。 また、森林 0.7ha が流失し、林帯地盤(0.7ha)が大きく侵食された。

③事業計画の内容

被災した防潮堤及び林帯地盤については、治山施設災害復旧事業により復旧する。 被災した森林については、防災林造成事業で整備する。

④これまでの実施状況と今後の予定

被災した防潮堤の倒壊区間のうち唯一の交通路である市道が背後に存する区間に おける応急対策は平成23年8月末までに完了した。防潮堤の復旧工事については、 平成25年度に着手し、林帯地盤の復旧を含め平成27年度に完了させる。森林の復 旧については、林帯地盤の復旧が完了した箇所から順次、植栽を実施し、全体の復 旧については、平成28年度の完了を目指す。

⑤平成26年度における成果

治山施設災害復旧事業: 防潮堤 351mの復旧を実施。

⑥平成27年度の成果目標(集中復興期間の成果目標)

防災林造成事業: 林帯地盤 0.7ha の復旧を完了。 治山施設災害復旧事業: 防潮堤 573mの復旧を完了。

⑦事業完了予定年度

平成 28 年度

(保全対象:根浜地区、市道、宿泊施設等)

①箇所名:箱崎、佐須、本郷、荒川

②被災の状況

津波により森林 2.5ha が流失(一部残存)した。

③事業計画の内容

被災した森林については、海岸防災林造成事業で整備する。具体的な事業計画については釜石市復興計画等を踏まえ決定した再生方針に基づき検討しているところ。

④これまでの実施状況と今後の予定

海岸防災林の復旧については、釜石市復興計画等を踏まえ再生方針を検討するとともに、地域及び関係機関との調整を実施した。なお、箱崎地区は他所管の防潮堤敷となるため、復旧を取りやめることとした。

箱崎を除く各地区については、他所管防潮堤の復旧工事が計画されており、関係機関との調整が整い次第、植栽に着手し、平成30年度の完了を目指す。

⑤平成 27 年度の成果目標(集中復興期間の成果目標) 防災林造成事業: 関係機関との調整を踏まえ事業計画を作成

⑥事業完了予定年度 平成 30 年度

(保全対象: 国道 45 号線、三陸鉄道南リアス線、県道、市道、農地等)

7. 漁港

①被害状況

漁港数:15 漁港

被災漁港数:15 漁港

②スケジュール

釜石市内の各被災 15 漁港において、平成 24 年度末時点で、13 漁港で部分的に陸揚 げ機能が回復している。

今後、平成27年度までに、その他の漁港施設の復旧の完了を目指す。

8. 復興まちづくり

- (1) 学校施設等
- ① 幼稚園・小中高等学校等
- (i) 公立学校

<釜石市立学校>

東日本大震災により被災した市立学校のうち、公立学校施設の災害復旧に係る国庫補助に申請した、または申請予定の14小・中学校及び2幼稚園について、 以下のとおり早期の復旧を目指す。

- 〇比較的軽微な被害に留まる 10 小・中学校及び 1 幼稚園のうち、1 小学校の建物が平成 23 年度に復旧を完了した。平成 24 年度には、8 小・中学校及び 1 幼稚園の建物等が復旧を完了した。残り 3 小学校の工作物については、平成 25 年度に復旧が完了した。
- 〇津波等により甚大な被害を受けた唐丹小学校、鵜住居小学校、唐丹中学校、釜石東中学校については、平成24年度内に復旧場所を確定し、平成25年度及び26年度において設計委託業務等を行った。
- 〇唐丹小学校、唐丹中学校、鵜住居小学校、釜石東中学校の開校は、平成29年4月 を目標としている。ただし、唐丹小学校、唐丹中学校については、平成30年2月 に建設工事等が完了する予定である。
- 〇津波により甚大な被害を受けた鵜住居幼稚園については、平成24年度に復旧方針等の検討・調整を行い、移転場所を確定した。なお、鵜住居小学校、釜石東中学校と同一敷地内での一体的な整備により、平成29年4月の開園を目標としている。

<県立学校>

東日本大震災により被災し、公立学校施設の災害復旧に係る国庫補助に申請した 2校について、以下のとおり復旧を完了した。

〇比較的軽微な被害に留まる 2 校について、 1 校は平成 23 年 10 月に復旧完了し、 1 校は平成 24 年 8 月末までに復旧を完了した。

② 大学等

(i) 国立学校

東日本大震災により被災した1法人の団地のうち、国立大学法人等施設の災害復旧に係る補助に申請済みの1団地については、津波により甚大な被害を受けており、がれき撤去が平成23年5月下旬までに完了した。

③公立社会教育施設(公立社会体育施設と公立文化施設を含む)

<釜石市立社会教育施設>

東日本大震災により被災した公立社会教育施設のうち、施設の災害復旧に係る国 庫補助に申請した、または申請予定の9施設について、以下のとおり早期の復旧 を目指す。

- 〇比較的被害の軽微な「栗橋公民館横内分館、郷土資料館」については平成23年 度中に復旧した。また、平成24年度には「市民交流センター」が復旧した。な お、津波により甚大な被害を受けた「戦災資料館」は、展示物を「郷土資料館」 に移設設置し、復旧した。
- 〇津波による被害の甚大な「市民文化会館」は、平成27年3月末をもって解体を完了し、平成29年度中に新築移転の完成を目指し実施設計中である。公民館のうち向定内分館は、適地が見つかり次第移転の方針。

<釜石市立社会体育施設>

- 〇比較的軽微な被害に留まる「市営プール、中妻体育館」については平成23年度 内に復旧を完了した。「平田公園野球場」は平成24年度に復旧した。
- 〇地震による被害の甚大な「市民体育館」は、津波により被災した「根浜健康福祉センター」の体育施設機能を含め、移転するよう、鵜住居駅周辺整備の一環として、駅前の一角に建設予定地を選定した。また、被災したグラウンドや公園が仮設住宅の用地となって再開の目途が立たない、特にも平田、昭和園、小川などの各グラウンド分も同様に、鵜住居駅周辺整備地区に移転集約を図ることを検討している。
- 〇「市民交流センター」「中妻体育館」は平成27年度に耐震補強工事を実施する。

(2) 津波復興拠点整備事業

①地区名:鵜住居地区、東部地区

②東日本大震災復興交付金を活用して、平成 23 年度から津波復興拠点整備事業に着 手。

③平成26年度までの成果

鵜住居地区については、平成 24 年 11 月に一団地の津波防災拠点市街地形成施設と して都市計画決定し、平成 25 年 3 月に事業認可、平成 25 年 10 月に工事着手してい る。

東部地区については、平成 24 年 11 月に一団地の津波防災拠点市街地形成施設として都市計画決定し、平成 24 年 12 月に事業認可、平成 25 年 9 月に工事着手している。

- ⑤事業完了予定年度 平成 29 年度予定

9. 土砂災害対策

- ①平成 23 年 8 月末までに、市内約 930 箇所の土砂災害危険箇所の点検を実施し、約 10 箇所で斜面の変状等を確認。降雨等により二次的な被害の恐れがある箇所等、必 要に応じ土のう積みや観測等の応急対策を実施。(降雨の状況等を考慮し、随時再調 査等を実施。)
- ②最大震度6弱を観測した釜石市では、地震により地盤が脆弱になっている可能性が高く、降雨による土砂災害の危険性が通常よりも高いと考えられるため、県と気象台が連携し、平成23年3月より土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用していたが、降雨と土砂災害の発生状況を考慮して基準を見直し、平成24年3月に通常基準への引き上げを実施。

10. 災害廃棄物等の処理

①推計量について

東日本大震災においては、地震による大規模な津波及び地震による建物の倒壊等により膨大な量の災害廃棄物等約 945 千トン(災害廃棄物が約 753 千トン、津波堆積物が約 192 千トン)発生した。

②搬入状況について

住民が生活している場所の近くの災害廃棄物については、平成 23 年8月末までに 仮置場へ概ね搬入した。その他の災害廃棄物 (損壊家屋等の解体により生じた災害 廃棄物を含む。)、津波堆積物についても、平成 26 年2月末までに仮置場への搬入は 完了した。

③処理状況について

平成 26 年 3 月末までに、災害廃棄物等約 945 千トン(災害廃棄物が約 753 千トン、 津波堆積物が約 192 千トン)の処理をすべて完了した。

11. 都市公園

【復興関係】

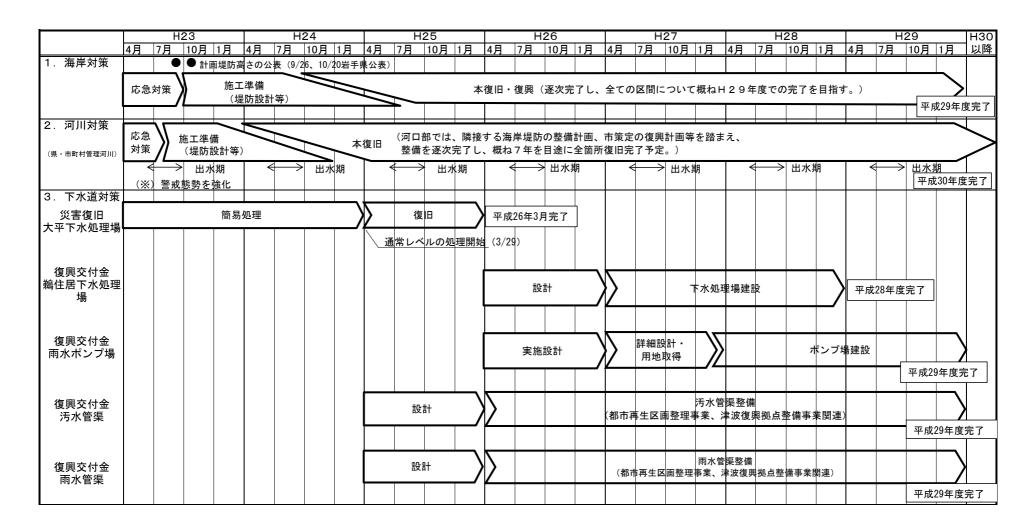
①地区名:水海地区、片岸地区

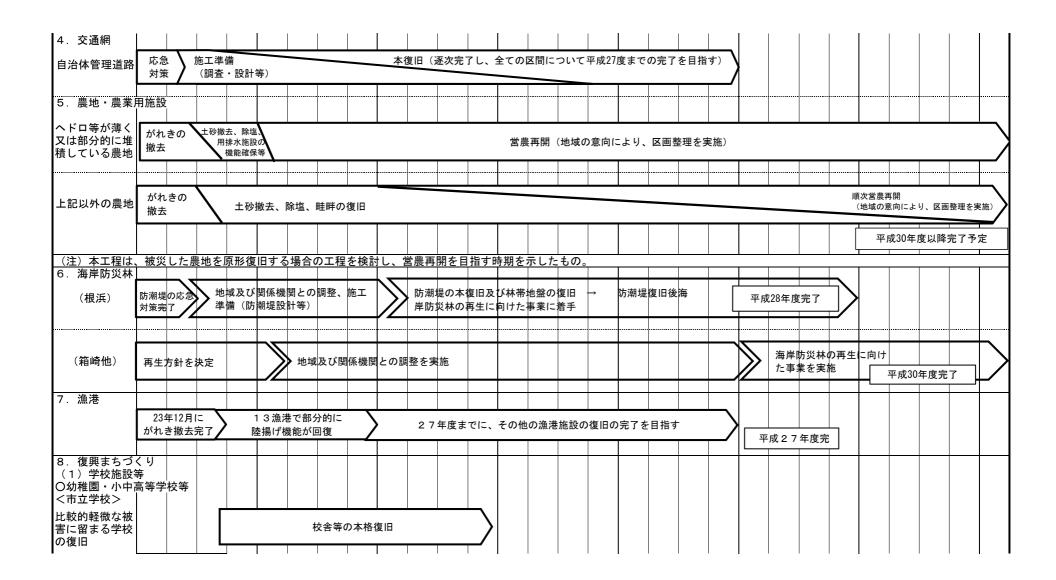
- ②東日本大震災復興交付金を活用して、水海地区は平成 23 年度、片岸地区は平成 24 年度から都市公園事業に着手。
- ③平成26年度における成果

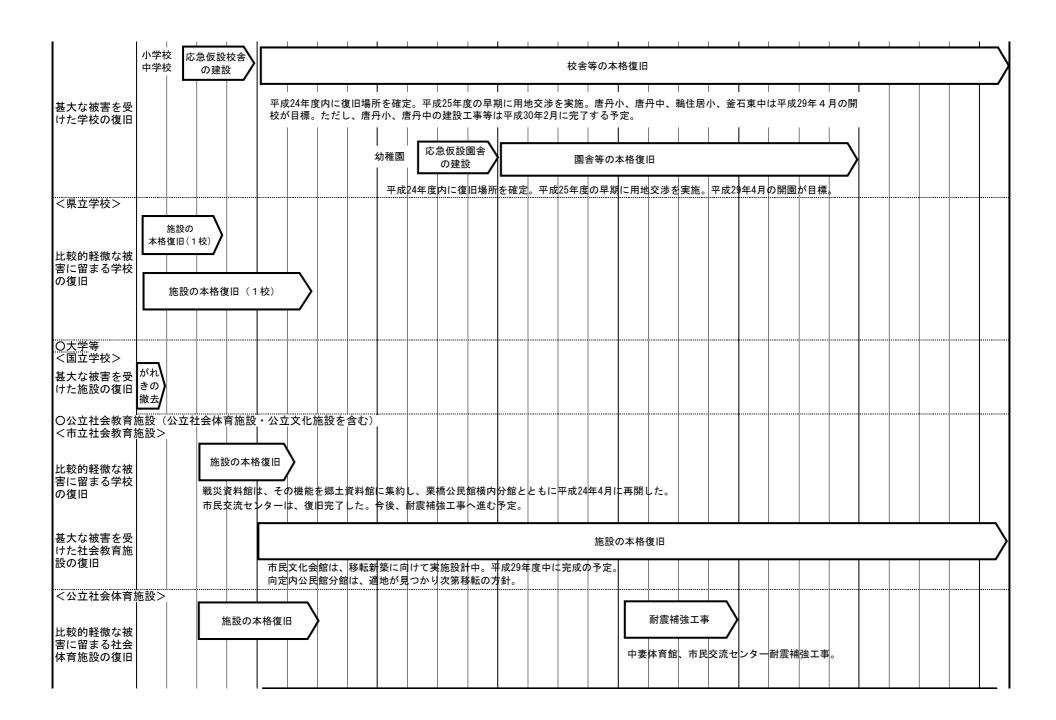
水海地区については、津波シミュレーション等の結果を踏まえて計画の見直しを行っており、平成26年度に概略検討(基本計画の検討)を実施している。 片岸地区については、平成24年度に調査測量を実施している。

- ④平成27年度の成果目標(集中復興期間の成果目標) 水海地区については、平成27年度末までに工事着手する。 片岸地区については、平成27年度末までに用地取得に着手する。
- ⑤事業完了予定年度 平成 30 年度末予定

復興施策の工程表(岩手県釜石市)







基大な被害を受けた社会体育施						施設の本格復旧															\supset					
設の復旧					市民	本育館	は、移	転新築																		
(2)津波復興 拠点整備事業			計画(の策定	ŧ						復興の拠点となる市街地を緊急			に整値	に整備(逐次完了し、完了を目指す。)						<u> </u>	平成29年度完了				
9. 土砂災害対	土砂災害 危険箇所 の点検等	平月	成23年度]	進を引	き下	げて運り	目 1.で	いたが	平成24	1 年:	₹3月に通常基準への引き上	げを事	2施。											
10. 災害廃棄物	等の処理		(住民か 平成23年	 E8月 	してい	る場所						\	(その他の災害廃棄物 等の仮置場への搬入) 平成26年2月に完了 平成26年3月に完了													
11. 都市公園(復興)									計	画の策定								津	波防災	緑地を	緊急に		平成30年	手度完 了	